

留 学 報 告 書

記入日:平成30年10月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: UC Berkeley
留学期間	2018年5月～2018年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月12日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41910人(2017年時点)
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	6'241	約 700'000 円	
宿舍費	5'644	約 600'000 円	
食費		円	雑費に含む
図書費		円	学用品費に含む
学用品費	about500	約 55'000 円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	about450	50'630円	形態:学校指定海外旅行保険
渡航旅費	0	円	JAL のマイルを使用したため
雑費	about700	約 80'000 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	about13'535	約 1'436'130 円	

渡航関連

渡航経路:羽田空港→サンフランシスコ空港

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	0
復路	0
合計	0

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(International House)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学ウェブサイト上の案内及び過去にサマーセッションに参加した方々からの話を参考にインターネットで検索した。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

居住者は皆フレンドリーで積極的なコミュニケーションを望んでいるため会話が弾みやすく、滞在者をサポートしてくれる RA の方々もとても親切で住みやすかったです。ただ地域でも人気な寮だけあって D タームにもなると人でごった返すことがありました。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談をする機会がなかったので把握していない

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

寮で聞いた。犯罪に巻き込まれることはなく極力夜間の外出を控えた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wifi は概ね問題はなかったが、深夜帯に 30 分ほど全く繋がらないことがあった。キャンパス内やほとんどの飲食店では Wifi が利用できた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で資金調達は行わなかった。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ハンバーガーなどを食べる際に重宝したウェットティッシュだが、現地では補充することはできなかったため細かい汚れが気なる人は持っていくことをお勧めする。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に CalCentral を通じクレジットカードで支払った。

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
microeconomics Analysis for Business Decisions	ミクロ経済
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	5/21~6/29
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Thomas McCullough
授業内容	ミクロ経済学を教授の板書に沿って講義形式に教わる。木曜日は Discussion となっているがTAがその週の内容を再度復習として講義するだけである。
試験・課題など	週に2回程度の頻度で指定教科書の章末問題を解き提出する。試験は記述式で計算問題が主であった。
感想を自由記入	英語を用いての途中式そして数学的言い回しを覚えて使うのがとにかく大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Investments	投資学
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	5/21~6/29
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Sam Olesky
授業内容	パワーポイントを基に講義形式で授業が進み、授業で紹介された方法を用いて実際にある投資商品のリスクを計算してみたりした。
試験・課題など	週に数個の Excel を用いて計算し提出するグループワークの課題がある。試験は授業で習った語句を問題に沿って答えるものであった。
感想を自由記入	分からないことがあってもメールで質問すればすぐに返事をしてくれてとても助かった。思ったほど事前知識がなくても授業についていけば何とかなったが試験に向けて覚える知識量はかなりのものとなるためある程度の覚悟はいる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際経営管理 導入
科目設置学部・研究科	Hass School of Business
履修期間	7/2~8/10
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Daniel A HIMELSTEIN
授業内容	パワーポイントに沿っての講義形式の授業である。教師がよく国際情勢についての自身の意見を述べる他生徒に積極的に意見を求めるため、外国人のものの見方というものを学ぶことができた。
試験・課題など	課題は二回ほど経済に関係する記事をネットから見つけそこから学べることを考えられることを三つほど箇条書きするというものだった。試験は与えられた文章を読み自身の意見を述べ期間内に提出するレポート形式のもののみだった。
感想を自由記入	D タームということもあるだろうが教室が満席となるため早めに席をとることをお勧めする。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Language Studies: Humor	ユーモア
科目設置学部・研究科	Valley Life Sciences
履修期間	7/23~8/10
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Brandon Spars
授業内容	まず Saturday Night Fever を一話鑑賞し、劇中のネタ(トランプ大統領とヒラリークリントンについてのネタなど)を教師が解説する。その後 30 分ほど教師が自身の体験した面白い小話を披露し最後にまた一本動画を見て大真面目に何がユーモアなのかグループで議論するという流れだった。
試験・課題など	週に一度授業で扱った動画一本について何が面白いのかを記述して提出するというもの。試験はなく代わりに最後にグループプレゼンが1本あった。
感想を自由記入	20人ほどクラスにいたがおそらく自分ともう一人を除くと全員が中国人であった、グループディスカッション中に中国語が飛び交い始めたりすることも多くあった。先生の英語は発音がはっきりしていてゆっくりなためとても聞きやすく小話はかなり面白かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学に行きたいと思い調べ始める
10月～12月	出願
2017年 1月～3月	留学のための諸手続きを進める
4月～7月	パークレーに出発する。他国からの留学生の勉強への情熱に感化されなんとか授業に追いつこうとする。週末は存外時間ができたため観光に勤しむ。
8月～9月	授業にも慣れ後半が軽めであったことから遠くまで観光することが多くなった。
10月～12月	単位申請
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	自身の英語を実際に使えるレベルまで昇華させたいと考え、また実際に異文化に触れることで柔軟な発想力を得たいと考えたため留学を志しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	なんといっても語学力です。出会った多くの留学生は皆当たり前のように英語を使いこなしており、多くが現地人のように発音も綺麗で堪能でした。はっきり言って他国の留学生と比べて日本人留学生はほとんどがそのレベルには達しておらず、私自身発音の悪さからうまくコミュニケーションができないといった事が多々ありました。
この留学先を選んだ理由	UC バークレーは世界大学ランキングでも一桁を誇る名門校であり、優秀な学生が多く通う環境の中で勉強をすれば自身の価値観が大きく変わるのではないかと思い選びました。またバークレーはほかの大学に比べ一か月ほど留学期間が前倒しされていたため収縮活動に支障が出づらいためバークレー校を選びました。
大学・学生の雰囲気	キャンパス内はかなり広くリスや果ては鹿にも遭遇できる自然豊かな場所でした。学生は皆勉強に対する意欲がとても高く留学生と積極的に交流をしようとしている人もまた多かったです。
寮の雰囲気	寮ではズンバといった毎週開催されているイベントから、野球観戦、アルカトラズ島の観光、遊園地といったイベントに安価に参加できる企画が多くありました。中でも毎週あるコーヒアワーは他の学生と交流できる絶好の機会です寮自体に積極的な交流を進めるよい雰囲気がありました。
交友関係	西欧系の学生とはあまり話す機会を持っていませんでしたが、アジア系の学生とは仲良くなることができ授業後には一緒に昼ご飯を食べたり勉強したりとよい関係を築けました。週末には一緒にサンフランシスコに繰り出したりといったことも多かったです。
困ったこと、大変だったこと	まず食事そして水回りの違いといった生活の違いにはとても苦労しました。ただ、やはり段々と慣れていくものでして終盤には味付けにも慣れ苦にはあまりなくなりました。
学習内容・勉強について	授業が密集していることもあり、少し課題を貯めてしまうととてつもなく苦労し徹夜にまで追い込まれたこともあります。がコンスタントにこなした授業を消化していけば週末には遊び歩けるほどの余裕は持てるかと思えます。
課題・試験について	課題量はそこそこでありましたが、事前知識の無い授業を多くとったため一つ一つの課題をこなすのに最初は多く時間をとられました。試験は日本と同じ要領で授業を復習し暗記すればなんととなりました。

大学外の活動について	空き時間は専ら観光に費やしました。特に後半はふらっと公共交通機関で行ける範囲で日帰りで立ち寄り様々な名所や飲食店を巡ることが多かったです。
留学を志す人へ	生半可な英語では必ず苦労するかと思います。まずは何よりも授業についていけるだけのリスニング力、そして日本について英語で語れるようにしておく事が大事だと思います。特に他国の学生から頻繁に聞かれたことは東京の人口過密についてと文化とは関係の薄いことであったため時事も把握しておいた方がいいと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	自習	課外活動	課外活動
	授業	授業	授業	授業	自習	課外活動	課外活動
午後	授業	授業	授業	授業	自習	課外活動	課外活動
	授業	授業	授業	授業	自習	課外活動	課外活動
夕刻	自習	自習	自習	自習	自習	課外活動	課外活動
夜	グループワーク	自習	友人と雑談	自習	グループワーク	友人と雑談	友人と雑談